

# 水戸市議会報

令和元年

12月定例会

No.230

2020年1月15日号



水戸市市制施行  
130周年



## 元気な明日を目指す健康都市 宣言など70議案を可決,承認

- 定例会あらまし ..... 2
- 代表質問 ..... 3～6
- 議案質疑, 一般質問 ..... 6～10
- 常任委員会報告 ..... 11
- 可決した意見書 ..... 12

新春恒例行事として親しまれる消防出初式。消防職員や消防団員, 関連団体が一堂に会し, 市民への防災意識の高揚等を目的に, 毎年1月に開催され, はしご乗り演技や一斉放水等, 見応えのあるアトラクションも実施される。

## 新たな年を迎えて



議長  
安井 栄



副議長  
黒木 勇

議会を代表し、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。  
市民の皆様におかれましては、希望に満ちた令和2年の新春をお健やかに迎えることと心より喜び申し上げます。

また、本市の市政運営並びに議会活動に対しまして、皆様の温かいご支援、ご協力を賜っておりますことに、厚く御礼を申し上げます。  
本年は、県内で初となる中核市への移行や新清掃工場「えこみっく」の供用開始など、更なる行政機能の強化が期待されているところでございます。

議会といたしましても、各事業が効率的・効果的に推進され、市民サービスの向上につながるよう、執行機関と真摯に議論し、慎重な審議と適切な意見の発信に努めてまいり所存でございます。

本年も、皆様の一層のご理解とご協力をお願い申し上げますとともに、皆様にとりまして、実り多き年となりますようご祈念申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

## 迎春 本年も市政の発展に努めます

滑川 谷川 友一 慎栄  
安藏 記代 美栄  
土田 真己  
中庭 雄  
佐藤 健  
綿引 太郎  
後藤 子

田口 慶明  
森口 正文  
鈴木 宣正  
黒木 宣正  
高倉 宣正  
飯田 宣正  
小泉 宣正  
大津 宣正  
須田 宣正

栗原 文雄  
袴塚 孝文  
五十嵐 勝夫  
小川 丈博  
内藤 丈博  
田口 丈博  
松本 辰三  
福島 辰三

(議席順)

市議会議員 28 名

## 定例会あらまし

### 会期

12月2日から17日までの16日間

### 議員質問

- ・ 代表質問 6 名
- ・ (3～6 ページ参照)
- ・ 議案質疑 2 名※
- ・ (6 ページ参照)
- ・ 一般質問 17 名
- ・ (6～10 ページ参照)

### 委員会付託議案審査

- (1) 各常任委員会における市長提出の付託議案の審査
- (2) 各常任委員会の委員長による委員会審査の経過並びに結果の報告
- (3) 反対討論 1 名
- (4) 一括採決の結果、いずれも原案のとおり可決、承認

(11 ページ参照)

### 人事案件

- ・ 市長追加提出の人事案件 5 件
- ・ いずれも同意
- ・ (3 ページ参照)

※ 今号においては、1 名のみ掲載しております。

### 意見書

- ・ 議員提出の意見書 4 件を可決
- ・ (12 ページ参照)

### 陳情

- ・ 陳情の閉会中継続審査を承認

### 議員の派遣

- ・ 茨城県市議会議長会議議員研修会への議員派遣を可決

### 閉会中所管事務調査

- ・ 各常任委員会等からの閉会中所管事務調査の申し出を承認



本会議の様子

## 可決した議案

市長提出議案	9件
令和元年度補正予算	35件
条例の制定・改正	26件
その他	70件
計	130件

今定例会で可決した議案から主なものを紹介します。

**元気な明日を目指す健康都市宣言**  
中核市移行を契機とし、健康まちづくりの推進に向けた都市宣言を行うもの。

**一部事務組合の解散及び規約変更等**  
新清掃工場の整備に伴い、笠間・水戸環境組合の解散や大洗、鉾田、水戸環境組合規約の変更等について、地方自治法の規定に基づき、議会の議決を求めるもの。

**動物の愛護及び管理に関する条例**  
市及び市民の責務、所有者等の遵守事項、犬猫の引き取りなどに係る手数料等を定めるため、条例を制定するもの。

**市立幼保連携型認定こども園条例**  
常設認定こども園及び内原認定こども園の設置に伴い、条例を制定するもの。

**駅前広場における安全で快適な環境の確保に関する条例**  
駅前広場における市及び利用者の責務や禁止行為等を定めるため、条例を制定するもの。

**水道事業給水条例の一部改正**  
審議会の答申を踏まえ、将来にわたり持続可能な水道事業の確立に向けて、経営基盤の強化を図るため、水道料(金等の)改定を行うもの。

**令和元年度補正予算**  
〔一般会計〕  
◆補正総額 22億4350万円増  
◆補正事業  
・台風第19号に伴う災害対応経費  
・財政調整基金の積み立て

**人事**  
水戸市副市長 田尻 充(再任)  
水戸市教育委員会教育長 志田 晴美(任命)  
水戸市公平委員会委員 鈴木 重之(選任)  
人権擁護委員候補者 塩澤 和子(再推薦)  
須田 洋治(再推薦)

### 代表質問

## 新生水政改革水戸



**マル福制度において 高校生の外来も助成対象に**

**Q** 市では、マル福制度について、これまで助成対象を18歳の入院までに拡大するとともに、今年度から所得制限を撤廃するなど、子育て世帯の負担軽減に取り組んでいる。しかし、高校生相当の年齢層については、県の基準により入院のみが対象であるため、独自に外来を対象にする自治体もある。そこで、本市においても、高校生の外来も助成の対象とすべきと考えますが、見解を伺いたい。

**A** 令和2年10月から、18歳までの外来に係る医療費助成を、所得制限を設けることなく実施したい。

**台風第19号における対応と今後の課題・対策は**

**Q** (1) 今回の浸水被害の原因は、那珂川の越水や支流での堤防決壊に加え、水路の逆流や水門閉鎖による滞水等によるものであったと聞いたが、それぞれの管理、運用をどのように分担し、対応していたのか。また、今回の対応や課題を踏まえ、今後どのように管理し、整備を進めていくのか見解を伺いたい。(2) 国交省の計画では、那珂川

の無堤防地区の堤防の整備について、完成までに30年を要することだが、国や県に対し、早期整備を強力に働きかけらるべきである。また、いまだ事業化されていない吉沼地区についても、堤防の緊急整備を望むが、見解を伺いたい。

**A** (1) 河川管理者である国や県が、それぞれ堤防や水門を設置し、管理している。また、支流では樋管や樋門を設置し、委託を受けた消防や土地改良区が開閉等の運用を行う。関係協議会で本市の現状を伝え、事態に即したハード、ソフトの両面による対策を推進するとともに、更なる連携強化を図る。(2) 会長を務める那珂川改修期成同盟会において、内閣府及び国交省に対し、緊急要望を行う。



甚大な冠水被害を受けた水戸北IC付近

**その他の質問**  
○農業、商工業への台風被害の現状と支援策は  
○待機児童解消と良好な保育環境創出への取組は  
○レイクサイドボウル跡地整備の進捗と今後は  
○仮称 東部公園の整備の進捗と今後は  
○小中学校のいじめの現状と撲滅への対策は

## 公明党水戸市議会

鈴木 宣子

**ごみの分別収集定着に向けた  
各種取組の導入を**

**Q** 令和2年4月から新清掃工場「えこみっと」が稼働し、市全域での統一したごみの分別収集が開始となる。

新しい収集方法に対して市民から戸惑いの声もあり、他市の事例でも対応に苦慮したと聞いた。そこで、新たな分別収集のルールを円滑に定着させるために、先行自治体で実施されているごみゼロ推進員制度の創設や新清掃工場の施設見学会開催等の取組を導入すべきと考えるが、見解を伺いたい。

**A** ごみゼロ推進員制度は、推進員の指導や啓発によるルールの徹底という観点から大変有効な手法であるため、今後住みよいまちづくり推進協議会と協力し、導入を検討する。また、新清掃工場の見学会は、ごみの分別やりサイクルの大切さを学べる効果的な取組と考えており、幅広い市民を対象とした見学会等の開催を計画している。

## 防災ラジオの拡充と

**効果的な災害情報の発信を**

**Q** 台風第19号による災害の際に、防災ラジオの有用性を評価する市民の声が寄せられた。一方で、浸水

想定区域以外への導入を求める要望もあつたと聞いた。そこで、今後、防災ラジオを市内全域に導入すべきと考えるが、見解を伺いたい。また、市民がより迅速かつ効果的に避難行動をとれるよう、周知内容等を改善し、災害情報発信に関するマニュアルを作成すべきと考えるが、見解を伺いたい。

**A** 平成30年度に防災ラジオを導入して以降、災害リスクの高い地域の住民や避難行動要支援者等には、無償で貸与してきた。無償貸与の対象にならない市民には、有償での頒布を計画しており、防災ラジオ貸与の在り方も含めて検討していく。また、台風災害の教訓を踏まえ、マニュアルを策定するなど災害情報伝達の強化に努める。



自動起動型防災ラジオ

### その他の質問

- 台風第19号災害による一部損壊世帯への補助は
- 災害廃棄物処理計画の早期策定を
- 外来医療費助成対象の更なる拡充を(高3生まで)
- 市営住宅家賃の減免制度対象世帯の拡充を
- 通学路における交通安全対策の強化を

## 日本共産党水戸市議団

土田 美代美

**新市民会館整備計画は  
今こそ根本の見直しを**

**Q** (1) 泉町1丁目北地区市街地再開発事業に関する補償費が当初の算定の3倍や5倍になった地権者がいる。空きビルのまま放置していた特定企業の建物にだけ26億円の補償費が支出された。一方で、生活再建が困難な地権者や営業を縮小せざるを得ない借地権者がいるのは不公平ではないか。当初60億円の補償費が84億円に増額された要因について、見解を伺いたい。(2) 本事業の支出に違法性があるとして住民訴訟が準備されている。市民の理解を得られない本事業の中止を決断し、真に市民に望まれる文化醸成に資する市民会館を求めるとどうか。

**A** (1) 安全が最優先であり、事故は二度とあってはならない。日本原電に高レベルの安全性確保を求め、市も各種安全対策に取り組み。(2) 議会の意見を踏まえ、さまざまな声を考慮して最終判断を下す。



新市民会館建設予定地(泉町1丁目)

**A** (1) 現地調査に基づき、国の定める補償基準等に従い、権利者の生活再建に不可欠な費用として適正に積算した。(2) 再開発組合と連携を密にし、着実に事業を推進する。

**東海第二原発の再稼働反対と  
廃炉の表明を**

**Q** 運転開始から41年を越えた東海第二原発直下の地震が飛び抜けて多くなっており、危険な立地で老朽化した原発の再稼働はあり得ない。しかし、日本原電は再稼働に向けた工事を進めており、約3500億円もの費用を各電力会社が支援することに納得する市民はいないと考える。(1) 先日、安全対策を進めた原発で再び事故が起きると考えるのは論理的ではないとの東海村長の発言が報道されたが、見解を伺いたい。(2) 事前了解権を得た立場で、日本原電に対し、再稼働を断固許さず、廃炉にすべきとの表明をしてはどうか。

**A** (1) 災害情報伝達と避難所設置の更なる改善を

- 被災者に寄り添った独自の生活再建支援を
- 水害対策と再発防止へ早急な河川整備を
- 来年度からの水道料金値上げは中止を
- 開放学級の運営は民間委託せず市の責任で

### その他の質問

- 災害情報伝達と避難所設置の更なる改善を
- 被災者に寄り添った独自の生活再建支援を
- 水害対策と再発防止へ早急な河川整備を
- 来年度からの水道料金値上げは中止を
- 開放学級の運営は民間委託せず市の責任で

## 民主・社民フォーラム

藤 昭雄  
佐 昭雄

### 放課後待機児童の解消と

#### 支援員の確保策は

**Q** 働く環境の充実により家庭環境が変化する中、開放学級や学童クラブのニーズが高まっている。市では、対象学年の拡大を示し、専門部署の設置や環境整備に取り組み一方で、支援員や受入場所の不足といった課題も生じている。また、支援員の待遇改善や預かり時間の延長など、施設運営の充実を望む声もある。そこで、待機児童解消や支援員の確保に向けた取組について伺いたい。

**A** 施設の確保に向け、余裕教室の活用を基本とし、不足する場合は専用棟を建設してきた。支援員の確保策、充実策としては、報酬額の引き上げや訪問指導員の増員を行った。また、開放学級運営を民間委託し、梅が丘小の待機児童が解消された。今後も保護者の多様化する要望に応えられるよう民間委託を段階的に全市へ拡大する。

### 保育所待機児童の解消と

#### 保育士の確保策は

**Q** 幼児教育・保育の無償化に伴い、保育需要が高まり、待機児童が再び増加する懸念がある。一方で、

定員割れの施設があるなど保育需要に地域的な偏りもある。待機児童解消に向けて、(1)他の自治体では送迎保育ステーションを設置し、周辺の保育所間を自治体等が送迎するサービスを行っている事例もあるが、本市でも導入してはどうか。(2)更なる処遇改善による保育士の確保も重要になると考えるが、市の取組について伺いたい。

**A** (1)議員提案は、保育サービスの充実に有効な施策であるが、本市では、保護者ニーズと地域の実情に照らして検討する必要がある。(2)保育士資格の取得を目指す者を保育補助者として雇用し、保育士を育てる保育補助者雇上強化事業の実施を検討していく。



未来を担う子どもたち

#### その他の質問

- 被災者への生活、事業再建に向けた支援策は
- 令和2年度予算編成の特徴は
- 中核市移行に向けた取組と市長の意気込みは
- 児童虐待への対策強化の取組は
- 定住人口の増加に向けた取組は

## 魁、水戸

渡辺 政明

### 下市地区のまちづくり構想と

#### 市の果たす役割は

**Q** 下市地区は江戸時代より重要な役割を担ってきた背景を持ち、夏の風物詩である備前堀の灯籠流しなど歴史を感じさせる地域である。

**A** (1)市では下市地区のまちづくりについての展望を描いているか伺いたい。(2)地域活性化に尽力する各種団体への評価や期待、また、これらの組織が有機的に連携する必要性について見解を伺いたい。(3)下市地区再生プログラムづくりを市が指導的立場から取り組むべきと考えるが、見解を伺いたい。

**A** (1)灯籠流しや吉田神社の秋季祭礼など歴史的資源を活用し、さまざまな交流が生まれるまちにしたい。(2)地元商店会や地区会等の活躍を心強く感じており、更なるにぎわい創出のため、地域と連携して回遊性の向上等に資する取組を推進する。(3)目標の共有化が重要であり、官民協働で取り組んでいく。

### 水戸協同病院建て替えの進捗と

#### 将来の見通しは

**Q** 水戸協同病院は老朽化が進み、医療環境の改善が求められている。かつてJA厚生連は新病棟建設を

計画していたが、その後、着工の延期、さらには白紙に戻すと発表した。平成30年6月の協議の場で、現在地建て替え、バスロータリー整備など3つの約束をしたが、市では進捗を確認しているのか。また、筑波大学地域医療教育センター撤退の話も耳にし、中心市街地再生の柱を損なう事態と危惧するが、見解を伺いたい。

**A** 現在地での存続と建て替えを前提とし、バス乗り入れのための道路整備事業を進め、来年度道路工事に着手する予定である。病院側は再来年度暫定的にバスロータリーを整備する予定となっている。現在地建て替えの具体的な計画を再度提示いただき、事業実施に向けて取り組むよう求めていく。



老朽化が進む水戸協同病院

#### その他の質問

- 台風災害時の対応の検証と今後の課題は
- 同一地区内の高戸への集団移転策の検討を
- 国田地区内の無堤防解消に向けた見通しは
- 水府・常盤地区への排水ポンプ機能設置を
- 新市民プール建設に係る方針及び事業手法は

## 県都市民クラブ

はかまつか  
たなか  
たけし  
塚  
孝  
雄

オリンピックを考慮した

水戸黄門まっりの開催時期は

**Q** 東京2020オリンピックの日程が水戸黄門まっりの開催時期と重なっている。警備体制確保の問題や、地域イベントとの日程調整の必要性、さらに市民や観光客への影響があるため、早期にまっりの開催時期を示し、アピールすべきと考えるが、見解を伺いたい。

**A** 例年の日程で開催する場合、にぎわいが分散し集客が図れず、警備体制の確保も難しいと考える。また、全国的にも同様の理由で日程を変更するイベントが多数あると聞いている。よって、水戸黄門まつりをオリンピックの時期を避けた日程に変更し、市民や観光客に両方を楽しんでもらうことが望ましいと考える。1月開催の実行委員会決定され次第、他イベント等に影響がないよう広く周知する。

県構想を受けた千波公園の

在り方や魅力は

**Q** 県は偕楽園・歴史館エリア観光魅力向上構想策定について、委託結果を公表した。偕楽園から千波湖を見渡す場所に回遊道路を整備する等の計画とのことだが、偕楽園

公園の魅力は、何よりも千波湖や自然を見渡す借景にあると考える。そこで、偕楽園・千波公園の在り方や魅力、県構想について、見解を伺いたい。

**A** 偕楽園・千波公園は、市のシンボリックな公園、憩いの空間であるとともに重要な観光拠点である。特に、見晴らし広場からの景観は全国的に稀有な眺望であり、市の宝と認識している。市の整備基本計画をもとに、サウンドイング調査結果を踏まえ整備方針を策定していく。県構想は、県で検討するに聞いている。市で千波公園の整備方針を策定する中で、県と協議を進めていく。今後も、県と連携し、景観や自然に配慮しながら、更なるにぎわいと魅力の創出に努める。



偕楽園公園からの千波湖の眺望

### その他の質問

- 浸水被害のあった居住誘導区域への考え方は
- 笠原地区周辺における道路機能強化は
- 市道寄附要項の表情と整合性は
- 幼児教育・保育無償化の来年度への影響は
- 認定こども園化の見通しは

▼議案質疑

水道料金平均11%値上げの理由と経営努力は

ふくしま  
福島三  
たなか  
たけし  
辰

**Q** 水道事業は、独立採算制を原則とする地方公営企業による事業であり、料金改定の前に最大限の経営努力を行う必要がある。市の浄水施設の処理能力には余裕がある一方で、災害に備えた複数水源の一つとして県中央広域水道事業から受水している。そこで、(1)今回の水道料金改定の理由や全体額、(2)県からの受水料金の総額や来年度の支払額、これまでの県への働きかけについて、それぞれ伺いたい。

**A** (1)今後の更新事業費や財政指針等を踏まえた審議会の答申から再検討し、11%に見直した。令和6年度までに24億円強の増加を見込む。(2)県受水費の総額は37億円強であり、来年度も約1億3千万円の支払いを見込む。11月にも県に要望したところであり、今後も料金の在り方への働きかけを行っていく。



楮川ダム

### その他の質疑

- 笠間・水戸環境組合の解散に向けた協議内容は
- 笠間市との合意内容は
- 大洗、鉾田、水戸環境組合脱退に係る合意明細は

▼一般質問

水道料金値上げ撤回と県中央水道からの受水中止を

たなか  
田中  
たけし  
貞己

**Q** (1)令和2年4月の水道料金値上げ率は平均11%だが、2割近い値上げとなる家庭も多く、総額5億円の増額となる。増税で生活が大変であり値上げは中止すべきである。水道事業会計の黒字分や一般財源繰り入れ、老朽管更新への国補助等の活用を求めるがどうか。(2)市の水道は9万人分も余裕があり県中央広域水道から受水の必要はない。約20年で約40億円の受水費は無駄である。台風第19号で断水した国田地域の住民からは、県中央水道事務所から何も支援がなかったと聞いた。災害時の有用性も疑う県受水の中止を求めるがどうか。

**A** (1)独立採算制のため一般財源繰り入れに頼らず受益者負担を求める。平均改定率11%で料金改定する。国の補助基準の緩和を求める。(2)必要な水源の一つと考えている。



十分な水量を蓄える楮川ダム

### その他の質問

- LD(学習障害)の児童への通級教室設置を
- 不登校の児童及び生徒への支援拡充を
- 認可外保育施設での事故に関する再発防止策は



イベント開催でにぎわう水戸駅南口広場

### その他の質問

- 町内会加入促進と市による防犯灯の一括管理を
- 災害避難先の明確化と職員研修及び訓練の強化を
- 東海第二原発や新市民会館への今後の対応は



茨大入り口交差点

### その他の質問

- 台風第19号による水害発生の原因は
- 台風の被害状況や救護・支援活動の内容は
- 高齢運転者の支援策と免許返納の対応は



水戸駅南口ペDESTリアンデッキ

### その他の質問

- 国保税の値下げと子どもの均等割の廃止を
- 市税の延滞金の減免、差し押さえの中止を
- 那珂川等堤防の建設とかさ上げ、河道掘削の要望を



笠原中学校

### その他の質問

- 市における医療的ケア児について
- ・ケアを必要とする児童数と今後の推移は
- ・市内でのサービスの提供状況と市の取組は

## 公共空間の新たな活用と利用者への情報発信を

谷 慎一

**Q** 公園、駅前広場、道路、水辺等の新しい使い方や可能性を引き出し、有効活用することが重要と考える。

そこで、市の公共空間の有効活用策の一つとして、エリアマネジメントなど地域活性化等を目的とした管理運営を提案するがどうか。また、市民団体や民間事業者による利用を促進するため、使用条件や申請方法を明確化し、積極的に情報発信してはどうか。

**A** 公民連携型の市民サービスの向上や地域の活性化が期待される。その一方で、利用内容により行為の禁止等を付すケースも想定されるため、公共性の観点や各施設等の特性を勘案し、検討する。また、利活用促進のためには情報の共有が大切と考えており、今後も各所管課で連携し、利用者ニーズに即した情報発信を検討する。

## 茨大入り口交差点の右折対策と排水対策は

藤 文男

**Q** (1)国道123号線の茨大入り口交差点では、通行車両が多いうえ、茨大生等の歩行者が横断するため、上下線で右折車の渋滞が発生している。混雑による追突事故も懸念されるため、早期の右折対策を望むがどうか。(2)茨大入り口交差点には、国道を横断する排水溝が敷設されている。しかし、降雨時には滞水が発生し、周辺店舗等では土のう等で浸水を防ぐこともあると聞いた。そこで、早期の改善が必要と考えるがどうか。

**A** (1)青信号の時間設定変更や周辺の交差点信号機との連動など、引き続き水戸警察署と協議し、渋滞緩和に向けて取り組む。(2)県と連携し、既存排水施設の定期清掃や局所的な改修等により早期の冠水被害軽減に努める。また、下水道整備計画の見直しを検討する。

## 水戸駅前広場等の使用を規制する条例は撤回を

庭 次男

**Q** (1)水戸市駅前広場における安全で快適な環境の確保に関する条例案には、パブリックコメントで多数の反対があったほか、県弁護士会も本条例は表現の自由を保障した憲法21条に違反する疑いが極めて濃厚であるとの声明を発表した。条例は撤回すべきと考えるがどうか。(2)水戸駅北口には署名・募金活動、宣伝物の配布等を禁止する看板が立てられているが、言論の自由を侵害するものであり、撤去すべきではないか。(3)駅前広場のスケートボードを禁止しているが、スケートボードを整備する計画はないのか。

**A** (1)表現の自由を妨げることのないような条文とした。(2)許可等が必要な内容である。条例の制定を踏まえ、内容を整理する。(3)活動団体の意見等を参考に検討を進める。

## 笠原中学校地区における今後の展望は

藤 通子

**Q** (1)笠原地区における宅地開発に伴う住宅増加によって、笠原小の児童数が増加している。普通教室が不足し、図工室を転用している状況だが、来年度からはさらに視聴覚室等を転用すると聞いた。そこで、特別教室の使用状況及び対策について伺いたい。(2)今後、笠原小と寿小の児童が入学する笠原中でも普通教室の不足が見込まれるが、どのような計画で対応していくのか、見解を伺いたい。

**A** (1)笠原小増築に伴う施設設計費等の補正予算を計上し、整備を進めている。校舎が完成するまでの間、視聴覚室や家庭科室を普通教室に転用する。転用期間が最小となるよう計画し、授業等に支障が出ないよう配慮する。(2)児童生徒数の推移を注視し、必要な学級数を把握し、学習環境の整備に努める。



精神障害者保健福祉手帳

### その他の質問

- 各種障害者手帳のカード化の推進を
- 小・中学校体育館のトイレの洋式化を
- 小・中学校体育館のAED設置状況は

**精神障害者に配慮した障害者手帳更新の対応を**

なめかわ  
滑川  
友理

**Q** 精神障害者保健福祉手帳は2年に1回更新手続きが必要であり、申請から交付までに数か月かかる。利用者からは、手帳が手元になく期間にサービスを利用できなくて困るという声を耳にする。より迅速な更新手続きの検討と利用先窓口への制度の周知徹底が必要と考えるが見解を伺いたい。また、利用者が手帳の更新申請を忘れないよう、事前に通知を出すのが望ましいと考えるがどうか。

**A** 手帳の更新期間の短縮は、県の審査会の都合等から困難と聞いている。更新申請中に手帳の有効期限が過ぎた場合に支援を受けられる方法について周知を行う。議員提案の更新申請を促す通知については、手帳の失効防止や支援継続のために大変有効であり、導入に向けて具体的な検討を行う。



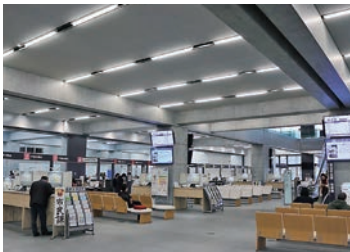
冠水被害が発生した常澄地区

**水害におびえることのない災害に強いまちづくりを**

おがわ  
小川  
勝夫

**Q** (1)台風第19号の影響により、那珂川・涸沼川沿川で広範囲な浸水被害が発生した。危険性が指摘されている城東地区でも、堤防の決壊による被害が予想される。整備計画の見直しや堤防の整備・強化を早急に国に要請すべきと考えるがどうか。(2)今回、必要な避難情報

**A** (1)被災直後、関係省庁等に早期の堤防復旧や河川改修等を緊急要望した。今後も国に強く働きかける。(2)逃げ遅れゼロの達成のため、河川監視体制の強化や伝達体制の再構築等が必要である。今後も国や県と緊密に連携し、災害に強い安心安全なまちづくりに取り組む。



新庁舎の窓口

### その他の質問

- 浸水想定区域への土のうの迅速な提供体制の整備を
- 災害廃棄物の処理計画と今後の方針は
- 日新塾の活用に係る今後の取組の方向性は

**ICTを活用した質の高い窓口業務による市民サービスの向上を**

おまつ  
津  
大亮

**Q** 市の窓口業務については、待ち時間が長い、同様の手続きを複数の窓口で行わなければならないなど、課題が多い。そこで、予約システムやタブレットの活用により、申請書をまとめて作成するシステムや手数料の電子マネー決済の導入など、ICT化を図ってはどうか。短縮や簡素化を図ってはどうか。あわせて、土日祝日の窓口対応についても見解を伺いたい。

**A** 予約システムの導入は有効な手段の一つであるため、土日祝日の窓口の対応とあわせ、調査、検討したい。窓口でのICTの活用は、より質の高いサービス提供につながるのと認識しており、電子マネー決済の早期導入、スマートフォン、タブレットを活用した申請手続きについて検討を進め、市民サービスの更なる向上を図る。

**認知症高齢者の事故に備え損害賠償保険への加入を**

まつもと  
松本  
久勝

**Q** 厚労省は認知症高齢者数が2025年には700万人に達すると発表しており、5人に1人が認知症になる。認知症高齢者による日常生活上の偶発的な事故も起きており、線路内への立ち入り死亡事故も発生している。この事故により、JR側が家族に損害賠償を求める訴訟を起こしたが、家族に責任は生じないとの最高裁判決が出ている。家族はもとより、被害者側の負担も非常に大きなものとなることから、市が損害賠償保険に加入し、認知症高齢者が賠償責任を負った場合に補償する制度を実施すべきと考えるがどうか。来年度の当初予算に計上すべきである。

**A** 議員提案は、家族や被害者の負担を軽減するため、その必要性を強く認識している。本市でも早急に検討を進め、制度の創設を目指す。



認知症高齢者による徘徊(イメージ)





常磐小北側の交差点

### その他の質問

- 新たなごみ分別収集の周知徹底を
- 粗大ごみの戸別収集の方法は
- 植物由来のごみ収集袋を検討しては



水戸駅南口バス発着所

### その他の質問

- バス路線第1次再編の現在までの評価は
- 危険なバス停の把握状況と解決策は
- 台風で発生した災害廃棄物処理の対応策は



防犯カメラ

### その他の質問

- 大型公共工事における市内業者の参入状況は
- 市内下請負業者を活用する取組と成果は
- 1・2次下請に市内業者を優先する取組は



根上がりにより破損する歩道

### その他の質問

- 在宅見守り安心システムの更なる利用促進策は

## 常磐小学校区における 通学路の交通安全対策は



**Q** 松ヶ丘交差点は、新たな商業施設の出店等により交通渋滞が慢性化しており、近隣住民から渋滞緩和対策が要望されている。また、市道22号線と23号線との交差点は、道路幅員や歩道等が狭く、歩行者の安全を守るためのガードポールも目立たないなど、登下校時に危険との意見を聞いた。子どもたちの命の安全を守るためにも、通学路の交通安全対策の早期実施が必要と考えるが、見解を伺いたい。

**A** 松ヶ丘交差点については、沿線地権者と道路用地取得契約を締結しており、支障物件の撤去完了後、速やかに改良工事に着手し、来年度中の完成を目指す。市道22号線と23号線との交差点に右折車線を設置するには、関係権利者の協力が必要のため、地元と連携し、引き続き早期整備の実現に取り組む。

## 水戸駅南口バス発着所の 早急な路面補修を



**Q** 水戸駅南口バスロータリーのバス停車位置の路面に陥没箇所があり、バスの発着時に大きな揺れが発生し、車内事故につながりかねない状況にある。東京駅では同様の問題が発生し、陥没の原因となる高速バスなどの大型車による道路損傷対策のため、バス停車位置を強度があるコンクリート舗装にするなどの補修を行っている。そこで、本市においても、利用者の安全確保のため早急に補修を行うべきと考えるが、見解を伺いたい。

**A** バスの安全運行や快適な利用という視点から、路面の改善は必要と考える。今年度、水戸駅南口バスロータリーを改修し、バス車両待機スペースの増設工事に着手する予定であることから、その工事に合わせ、バス停車位置の路面を補修するなど、改善を図っていく。

## 地域防犯カメラ設置事業費 補助制度の創設を



**Q** 公共の場における防犯カメラのメリットとして犯罪行為の抑止が挙げられる一方で、プライバシーの問題や周囲に不要な威圧感を与えといった懸念がある。このような状況を踏まえ、市民による防犯カメラ設置及び適正な管理・運用に関するガイドラインを早急に策定すべきと考えるが、現在の取組状況について伺いたい。また、防犯カメラを設置する団体等への設置事業費補助制度の創設に向けた検討状況について伺いたい。

**A** ガイドラインの策定は、市民の不安感の解消につながるのと同時に、防犯カメラの設置を促進するものとするため、年度内の策定を目指す。また、助成制度の創設については、ガイドラインの策定とともに、先進事例を調査研究し、引き続き検討する。

## 街路樹の適正管理による 美しい道路空間の整備を



**Q** 街路樹は美しい景観を作り出すほか複合的な機能を有するが、巨木化や老木化の影響で道路の破損や倒木など、さまざまなリスクがある。また、定期的な剪定作業によって道路空間と不整合な形状になった例も散見される。(1)街路樹の維持管理の実態と課題について見解を伺いたい。(2)市民と行政の協働による維持管理を推進すべきと考えるがどうか。(3)維持管理計画を策定し、中長期的な取組を進めるべきと考えるがどうか。

**A** (1)生長する樹木の管理費用が増大する一方で、管理が粗放となっており、(2)有効な手段であると認識しており、道路の里親と認定した住民団体等に簡易な剪定等を依頼している。(3)長期的な管理計画策定を検討し、数量の適正化により効率的な維持管理を進めていく。

児童虐待防止に向けた

市の取組は

たくち 田口 ぶんめい 文明

**Q** 目黒区での5歳の女の子の死亡事件をはじめ、児童への虐待事件が相次ぎ、居たたまれない思いである。子どもを虐待から守るためには、行政の支援や地域での支え合いが必要である。虐待の早期発見に向けて、地域での関心を高め、虐待の疑いがあると思われるときには市や関係機関への通告をためらわないよう、地域住民に広報することも必要と考える。そこで、児童相談所や警察等との連携をはじめ、市の取組を伺いたい。

**A** 児童相談所や警察等の関係機関で構成する協議会において、相互に密接に連携しているほか、関係協議会や民間団体と協力し啓発活動を行っている。また、児童相談所全国共通ダイヤル「189」の更なる周知を図るなど、児童虐待防止に向け積極的に対策を進める。

台風第19号災害に係る

職員や消防団員の勤務体制は

ただ 田 須 かつひろ 浩和

**Q** 災害対応者や援助者は、隠れた被災者とも呼ばれている。生命の危機を伴うような重大な出来事から来る危機的ストレス、不慣れな環境での活動、苦情等による累積ストレス、不十分な休息や睡眠等、通常の生活にないストレスにさらされている。健康に留意した体制での災害対応が重要なのは言うまでもない。そこで、職員や公営企業職員、消防団員等がどのように勤務に従事していたのか。また、災害時の勤務時間に係る規定があるのか、それぞれ伺いたい。

**A** 発生直後は、刻々と変化する状況に応じて勤務が長時間に及んだが、全庁的な動員態勢を敷き、計画的に職員を配置した。消防団員の従事は長時間にわたり、十分な交代態勢が確保できなかったことは課題である。例外的な規定はない。

台風第19号災害時の

市、消防本部、消防団の対応は

こいずみ 小泉 二 康

**Q** 台風第19号による甚大な浸水被害が発生した。(1)当該地樋門の操作は消防本部の任務であり、開閉の判断が遅れることで被害の拡大及び農業被害等の二次被害が深刻化するおそれがある極めて重要な責務と考えるが、今回の樋門運用状況と管理責任について伺う。(2)ドローンによる映像情報は被害状況の把握に有効と考えるが、今回の運用状況と効果は。(3)消防団の役割は大変重要であるが、今回の災害時に果たした役割と成果を伺う。

**A** (1)開放操作に一部遅れが生じたことは事実である。任務の重要性を再認識し、今後操作員のバックアップ体制を整える。(2)延べ9回運用し、記録映像により災对本部の迅速な対応につながった。(3)各団員が連携し広報・水防・救助活動に当たり、有効な活動を展開した。

子宮頸がん予防

ワクチン接種の取組は

いがらし 五十嵐 博

**Q** 子宮頸がん予防ワクチンの接種は、厚労省から接種の積極的な勧奨を差し控えるよう通知があった。そのため接種率が下がり、子宮頸がん罹患するリスクが定期接種導入以前に戻ってしまった。また、疾患やワクチンを知る機会も失われているため、接種の呼びかけではなく、ワクチンの正しい情報を伝え、接種を判断してもらうための個別通知を実施してはどうか。

**A** 本市では、子宮頸がん予防ワクチンの勧奨通知等を控えているが、定期接種としての位置付けに変わりはないため、市ホームページ等で予防接種の周知は継続している。一部自治体では案内を送付するなど取組が多様化していることから、引き続き、他市町村の事例や国の動向を注視し、本格実施にも対応できるよう準備を進める。



児童相談所全国共通ダイヤル「189」

**その他の質問**  
 ○相続に係る戸籍謄本等の申請に速やかな対応を  
 ○市における英語教育の取組は



動員態勢を協議、決定する災害対策本部

**その他の質問**  
 ○中核市移行による市民の具体的なメリットは  
 ○水戸ホーリーホックの自主スタジアム構想への見解は  
 ○レイクサイドボウル跡地利用に係る今後の計画は



甚大な浸水被害が発生した飯富・渡里地区

**その他の質問**  
 ○被災者への継続した生活再建及び生業支援を  
 ○HACCP制定に伴う企業等への影響と支援策を  
 ○水戸ホーリーホック専用スタジアム建設への支援を



子宮頸がんワクチン接種のリーフレット

**その他の質問**  
 ○水戸駅周辺の積極的なぎわい創出を  
 ○結婚ときめきプロジェクトの今後の展開は  
 ○市ホームページの多言語化対応を

## 文教福祉委員会

### 動物の愛護及び管理に関する条例

**主な質疑** 条例の対象となる動物の種類、県条例との相違点や県との協議状況、所有者等が判明していない犬を収容している旨の公示期間を4日間とする理由、(仮称)市動物愛護センターの完成時期など。

**主な意見** (1)収容された犬及び猫の殺処分の条件や運用基準を早急に整理されたい。(2)殺処分ゼロを目指す、譲渡または所有者等への返還を促進するための効果的な方策を検討されたい。

全会一致可決

### 市立幼保連携型認定こども園条例

**主な質疑** 常澄認定こども園及び内原認定こども園の設置において、認定こども園の類型のうち幼保連携型を選択した理由及びそのメリット、認定こども園に従事する職員の資格など。

**主な意見** 小規模保育施設に入所している児童の3歳以降の受け皿を確保する必要があることから、入園児童が減少している市立幼稚園の認定こども園化に向け、早急な対応を図られたい。

全会一致可決

## 産業水道委員会

### 水道事業給水条例の一部を改正する条例

**主な質疑** 水道料金改定に至った経緯、改定後の料金体系、使用量の現況など。

**主な意見** (1)料金改定に伴う使用量の減少が懸念され、収益の減少につながることから、水道水の安全性等のPRに努めるなど、消費拡大に向けて不断の努力をされたい。(2)料金改定について、市民に丁寧な説明をされたい。

全会一致可決

## 総務環境委員会

### 笠間・水戸環境組合の解散及び解散に伴う財産処分

**主な質疑** 解散に伴う協定書(案)の内容、解散後における本市の費用負担及びその算出根拠など。

**主な意見** 組合の解散後においても、将来負担について、協定内容を尊重したうえで継続的な協議を行うとともに、負担内容の明確化を図り、議会に報告されたい。

全会一致可決

### 大洗、鉾田、水戸環境組合規約の変更及び共同処理する事務の変更に伴う財産処分

**主な質疑** ごみ処理事務からの脱退に伴う本市の費用負担など。

**主な意見** 共同事務の変更に伴う将来負担について、協定内容を尊重したうえで継続的な協議を行うとともに、負担内容の明確化を図り、議会に報告されたい。また、引き続き共同処理を行うこととなるし尿処理に係る事務についても、その在り方の検討を早期に進められたい。

全会一致可決

## 都市建設委員会

### 駅前広場における安全で快適な環境の確保に関する条例

**主な質疑** 駅前広場における禁止行為及び遵守事項の内容、修繕経費の支出状況、本市におけるスケートボード等の規制状況など。

**主な意見** (1)市民に本条例の趣旨が十分理解されるよう周知徹底に取り組みされたい。(2)スケートボード等を安全に使用できる場所の確保について検討されたい。(3)駅前広場のより安全で快適な環境を確保するため、防犯カメラの活用を推進されたい。

賛成多数可決

## 議会日誌

10/11	総務環境委員会 文教福祉委員会 産業水道委員会 都市建設委員会 全員協議会 偕楽園・千波湖周辺整備等 調査特別委員会 水泳競技施設等調査特別委員会 新市民会館整備等 調査特別委員会 議会報編集委員会	11/11	都市建設委員会 全員協議会 新市民会館整備等 調査特別委員会	12/11	本会議 議会運営委員会
10/28	全員協議会 行財政改革調査特別委員会 新市民会館整備等 調査特別委員会	11/20	産業水道委員会	12/12	総務環境委員会 文教福祉委員会 産業水道委員会 都市建設委員会
11/11	総務環境委員会 文教福祉委員会 産業水道委員会	11/21	総務環境委員会 文教福祉委員会 産業水道委員会 都市建設委員会 水泳競技施設等調査特別委員会 新市民会館整備等 調査特別委員会	12/13	総務環境委員会 文教福祉委員会 産業水道委員会 都市建設委員会
		11/25	議会運営委員会	12/16	議会運営委員会
		12/ 2	本会議	12/17	議会運営委員会 全員協議会 本会議
		12/ 9	本会議	12/20	議会報編集委員会 新ごみ処理施設整備等 調査特別委員会
		12/10	本会議	12/27	議会報編集委員会

## 可決した意見書

今定例会では、議員提出議案として、4件の意見書を可決しました。

- 1 令和元年台風19号等からの復旧・復興に向けた対策を求める意見書
- 2 あおり運転に対する厳罰化と対策強化を求める意見書
- 3 豚コレラの早期終息に向けた緊急かつ具体的な対策を求める意見書
- 4 白タク行為の容認を旨とした規制改革の自粛を求める意見書

## 議会を見よう

本市議会では、インターネットでの本会議のライブ配信及び録画配信、常任委員会の録画配信を行っています。

また、常任委員会及び特別委員会の会議記録も公開しておりますので、ぜひご覧ください。

[ホームページ](#)

[議会中継](#)

[委員会会議記録](#)

## 3月定例会の予定

日	月	火	水	木	金	土
3/1	2	3	4	5	6	7
8	9 本会議 (提案理由説明) 議案説明会	10	11	12	13	14
15	16 本会議 (代表質問)	17 本会議 (代表質問) (議案質疑 及び 一般質問)	18 本会議 (議案質疑 及び 一般質問)	19 常任委員会	20	21
22	23 常任委員会	24 常任委員会	25 議会運営委員会	26 議会運営委員会 全員協議会 本会議 (議了)	27	28

※3月10～15、20～22、25日は議案調査

## 編集委員会

委員長 小川 勝夫

副委員長 栗原 文隆

委員

滑川 友理 安藏 栄 土田記代美

佐藤 昭雄 後藤 通子 森 正慶

鈴木 宣子 黒木 勇 小泉 康二

大津 亮一

## 編集後記



水戸市マスコットキャラクター

「みとちゃん」

令和元年第4回定例会を開催しました。本市内においても甚大な被害をもたらした台風第19号に伴う災害対応についての議論が多くを占めました。被災者の方々に心よりお見舞いを申し上げます。

昨年11月には、アダストリア水戸アリーナにて市制施行130周年記念式典が粛々と執り行われ、本市の歴史を再認識する機会となりました。これからも市民の皆さまとともに市政発展に努めてまいります。

[後藤 通子 記]